

小型版! 発光EL板面積 最大70 cm²

EL インバータ 60

[ユニット]
INV-60

071011 CODE1996-134 第3版 121119 /MMY

仕様

電源電圧	標準 DC 12V
動作時電流	※12V(±10%)の範囲で動作可 約55mA
出力電圧(実効値電圧)	約100Vrms(±15%)
出力周波数	約600Hz(±15%)
	※上記出力は、60cm ² 負荷接続時
駆動EL面積	標準60cm ² (50~70cm ² 可)
入出力端子台 取付線	AWG16~26
入出力端子台ねじ	M2(+0番ねじ)
基板サイズ	W33×D40×H14 mm
	※Hはハンダ部も含む高さ

概要

EL板発光用のインバータ(高電圧発生)ユニットです。完成ユニットなので電源を接続するだけで簡単にEL板を発光できます。

取り扱い上の注意

- ◆使用しない時は電池や電源を取り外しておいてください。
- ◆「OUT」端子(EL板と接続する端子)には高電圧が発生しています。感電に注意してください。
- ◆発光面積「50~70cm²」の大きさのEL板を接続してください。大きすぎたり、小さすぎるとインバータユニットやEL板が破損する場合があります。
- ◆無負荷状態(EL板を接続していない状態)で電源を入れないでください。無負荷で放置するとインバータユニットが破損するおそれがあります。
※無負荷時に「ピーツ」という発振音が聞こえますが異常ではありません。
- ◆電源接続前に基板の下に金属物など電気の流れる物が無いかよく確認してください。ショートして危険なので、必ず絶縁体(電気の流れない物)の上で接続してください。

※出力電圧・周波数は取り付けるEL板の種類、大きさによって変動します。

※取り付けるEL板のサイズは大きすぎるとインバータユニットを小さすぎるとEL板自身がダメージを受ける恐れがあります。くれぐれも規定の範囲内でご使用ください。

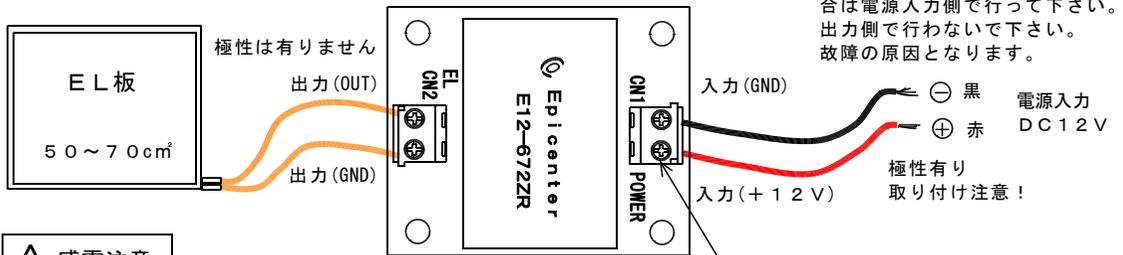


接続参考図

※EL板、配線材は当製品には付属していません。別途お買い求めください。

接続は必ず先にEL板を接続してから電源を入れてください。無負荷で電源を入れるとインバータユニットが、電源を入れてからEL板を接続する事でEL板にそれぞれダメージを受けます。

⚠ 電源を入れたまま、端子の配線作業はしないでください。



⚠ 感電注意

通電後はEL・端子台(CN2)のねじに触れると感電する恐れがあります。

●スイッチなどで入り切りする場合は電源入力側で行って下さい。出力側で行わないで下さい。故障の原因となります。

端子台は上部のねじをゆるめて配線材の“皮をむいた物”を差し込んで、ねじを回して配線材が抜けないように止めてください。



<http://wonderkit.kyohritsu.com/>

当製品の規格以外の使い方や改造の仕方についての御質問はご遠慮下さい。規格以外の使い方や改造による不動作、部品の破壊等の損害については一切補償致しかねます。当製品についての、ご質問は質問事項、明記の上「封書」「FAX」「Eメール」でお願いします。お電話ではお答えいたしかねます。(内容によっては回答に時間のかかる場合があります。)

[FAX 06 6644 4448]
[Eメール wonderkit@keic.jp]

ワンダーキット

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西 2-5-1
TEL (06) 6644-4447 (代)
FAX (06) 6644-4448
通販専用 TEL (06) 6644-6116